

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライジングスター苦楽園			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日 ～ 2026年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が単なる体験だけではなく実生活につながる力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の見通し(タイマー活用) ・金銭感覚(おやつ選択での計算) ・役割分担(クッキング) ・マナー、社会性(活動参加) 	特にクッキング活動は <ul style="list-style-type: none"> ・手順理解 ・TPO理解 ・衛生意識 ・共同性
2	外の世界との接点を持つ機会を提供しているため目標を持って挑戦する経験が得られる。	アートや音楽を通して <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現 ・集中力 ・想像力 ・達成体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会参加 ・音楽会参加
3	体験を通じた社会性の育成	公園、イベント、外出などの活動を通じて <ul style="list-style-type: none"> ・ルール理解 ・集団行動 ・他者との関わり 	経験から身に付く支援実践的に学べる環境を作っている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の共有体制の弱さ	勤務時間が異なるため <ul style="list-style-type: none"> ・全員が集まる機会が少ない ・ミーティング実施が難しい ・情報伝達にばらつきが出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤スタッフのみ参加 ・その日の共有事項を記録 ・参加できないスタッフは後で確認
2	業務分担の不明確さ	各業務の担当が明確でない場面がある	担当制の導入 保護者対応、行事、書類管理、広報、環境整備 役割を明確にしていく
3	情報伝達のスピード不足	問い合わせ対応や意思決定に時間がかかりレスポンスが遅くなりやすくなる	本社、内部確認、意見等事項をそれぞれに回答期限のルールを設定すること